

第 626 回：【4 年生向け】 卒業論文の進め方のコツ（MK）

4 年生の皆さん、半年後に卒業論文を提出する計画は立てられていますか？
半年と聞くと「まだ大丈夫」と安心してしまおうと思いますが実はあっという間です。（筆者は 3 年生の時から書き始めていましたが結局提出は締め切り間際でした（苦笑））

卒業論文の特徴や書き方については『これからレポート・卒論を書く若者のために』にわかりやすく書いてあるので是非参考にしてください。
本稿では、卒業論文を計画的に進めていくためのコツをお伝えします。

コツ① 夏休みに思いっきり遊びたいなら夏休み前に土台を作るべし

論文はいくらやる気と時間があっても一夜にしてできるものではありません。アイデアが浮かんでも実際に書き始めるとうまく書けないことや、ゼミの先生に相談したらゼロから考えることになることもあります（汗）

また、アイデアを学術的な文脈に落とし込んで考えを深めていくためにはある程度時間が必要で、これを『よく分かる卒論の書き方』の中で筆者は「あたためる期間」と呼んでいます。そのため、夏休み前を目安に大枠を決めるようにしましょう。

外大の卒業生の卒論を図書館で見ることができます。全体像が見えなくて困ったりしたら是非参考にしてください。

コツ② 探したい情報を想定しながら情報を収集すべし

なんとなく論文を読んでいると気付けば

時間がすごく過ぎていて、気になることを辿るだけでは学術的な深みを出すことが難しいです。そのため例えば、「神戸の環境保全に関する取り組みについての情報を探そう」というように具体的な目的を意識して情報収集しましょう。

図書館のページから OPAC にログインすると CiNii Research というタブがあり、自分でキーワードを入れて関連する論文や本を探することができます。Google Scholar も併用して見つけたい情報をピンポイントに探すようにすると時間も効率的に使うことができます。

最終的には卒論で得た知識を就活に使って卒業後も役に立てることができれば良いですね。困ったら LA にいつでも相談してください。